

産業廃棄物処理業者・M-EMS

エコアクション21 相互認証版環境報告書

環境報告書

活動期間

(2018年11月1 日～2019年1月31 日)

2019年2月1日

山泰建設株式会社

1. 組織の概要

- (1) 事業所名 : 山泰建設株式会社
- (2) 代表者氏名 : 代表取締役 鎌田 泰裕
- (3) 所在地 : 三重県四日市市水沢町166
- (4) 事業内容 : 1. 産業廃棄物の収集運搬
2. 産業廃棄物処分(中間処理)
- (5) 資本 : 50,000,000円
- (6) 沿革 : 1975年 8月 創業
1994年 11月:三重県産業廃棄物収集運搬業許可取得(第02402025040 号)
1995年 2月:三重県産業廃棄物処分業許可取得(第02422025040 号)
2018年 11月:M-EMS活動を開始

(7) 事業の規模

- ① 売上 : 430,000,000円(2017年度実績)
売上 : 193,342,302円(2018年11月-2019年1月)

② 従業員数 : 17名

③ 敷地面積 : 延床面積

- ・本社・事務所 敷地面積:4490平方メートル 延床面積:537平方メートル
- ・中間処理施設

	住所	敷地面積	延床面積
第1リサイクルプラント:	四日市市水沢町字横堀5034-2	3124平方メートル	40平方メートル
第2リサイクルプラント:	四日市市堂ヶ山町字上大塚谷1902	5233平方メートル	35平方メートル
第3リサイクルプラント:	四日市市堂ヶ山町字梨木沢1943-29	4200平方メートル	0平方メートル

- ・積替え保管施設 なし

(8) 許認可一覧と許可品目

1) 産業廃棄物関係

許可の内容	有効期限/許可行政	許可品目
産業廃棄物収集運搬業 許可番号: 第02402025040号	有効期限: 27年3月12日 ～31年11月15日 許可行政:三重県	汚泥、廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を含む)、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず等(石綿産業廃棄物を含む)、がれき類以上9種類
産業廃棄物処分業 許可番号:第02422025040号	有効期限: 27年3月19日 ～32年2月8日 許可行政:三重県	【中間処理】 木くず、ガラスくず等(石綿産業廃棄物を除く)、がれき類(石綿産業廃棄物を除く)以上3種類 天日乾燥:汚泥(水銀使用製品産業廃棄物を除く)以上1種類

(9)取扱い産業廃棄物

・廃棄物の収集運搬実績

収集運搬実績	単 位	2015年度	2016年度	2017年度	2018.11～2019.1
産業廃棄物	t	5634	8190	11547	9698

・運搬車両の種類と台数

車両の種類	台数	最大積載量(kg)	備考
2tダンプ	1台	2000	産廃専用
3tダンプ	2台	3000	産廃専用
10tダンプ	2台	8700	産廃専用

・中間処理実績

処理実績	単位	2015年度	2016年度	2017年度	2018.11～2019.1
中間処理量(破碎等)	t	89988	90504	154942	37803

・中間処理施設の種類及び処理能力

・処理施設(設備)

第1リサイクルプラント

破碎機 : HITACHI HR320(破碎機)
重機 : CAT320D(0.7³m³バックホウ) 2台
CAT910K(1.3³m³ホイールローダー) 1台

・処理能力

がれき類破碎 : 800 t/日(8時間)

・許可品目: 木くず、カラスくず等(石綿含有産業廃棄物を除く)・がれき類(石綿含有産業廃棄物を除く)

第2リサイクルプラント

破碎機 : コマツ BR380(破碎機)
重機 : CAT320D(0.7³m³バックホウ) 2台
CAT320E(0.7³m³バックホウ) 1台
コマツD31ブルドーザー 1台
コマツPC30(0.1³m³バックホウ) 1台

・処理能力

がれき類、ガラスくず等破碎 : 680 t/日(8時間)

天日乾燥施設 汚泥: 21³m³/日(22h)

・許可品目: 木くず、カラスくず等(石綿含有産業廃棄物を除く)・がれき類(石綿含有産業廃棄物を除く)、汚泥

第3リサイクルプラント

破碎機 : 諸岡 MC-2000(破碎機) 1台
諸岡 MC-6000(破碎機) 1台
重機 : CAT320E(0.7³m³バックホウ) 1台
コマツWR12(1.4³m³ホイールローダー) 1台

・処理能力

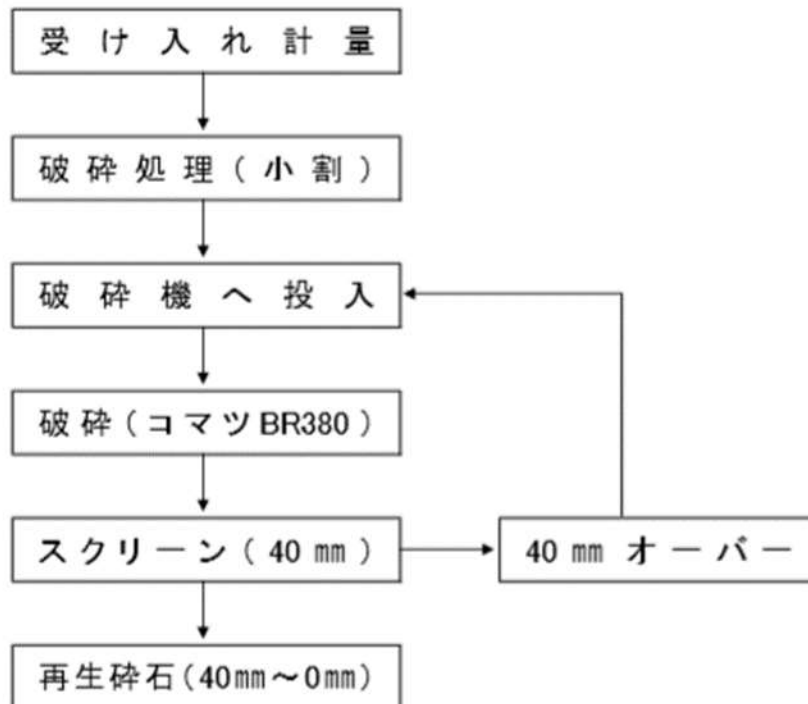
木くず破碎: 27.44t/日(8時間)

・許可品目: 木くず、カラスくず等(石綿含有産業廃棄物を除く)・がれき類(石綿含有産業廃棄物を除く)

・処理工程図
第1リサイクルプラント・第2リサイクルプラント
がれき類フローチャート

山泰建設(株) 産業廃棄物中間処理処分施設

がれき類 破碎フローチャート



・処理工程図
第2リサイクルプラント
汚泥フローチャート

山泰建設(株) 産業廃棄物中間処理処分施設

汚泥 破碎フローチャート



・処理工程図
第3リサイクルプラント
木材フローチャート

山泰建設(株) 産業廃棄物中間処理処分施設

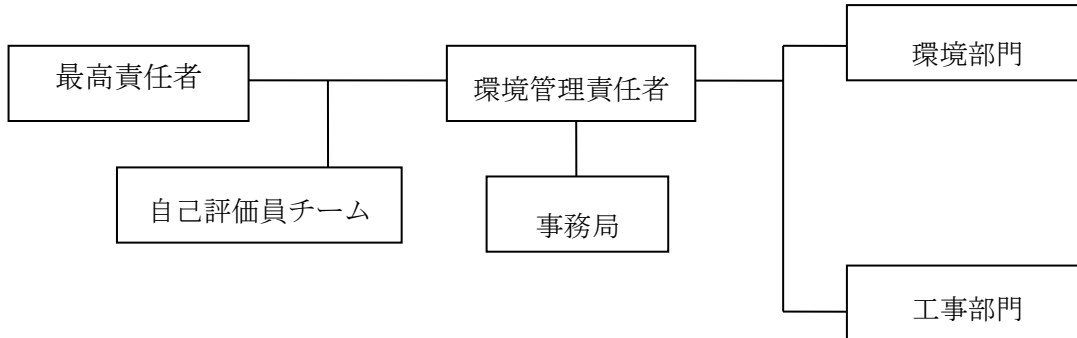
木材 破砕フローチャート



(10)廃棄物の処理料金

運搬距離、廃棄物内容、回収形態等により、都度見積もりをおこなう。

(11)環境活動の取り組み体制



環境管理責任者： 鎌田 一成

担当者連絡先： 鎌田 一成

(TEL:059-329-2510 FAX :059-329-3080)

2. 登録対象

(1)登録内容

M-EMS登録証:

登録日 :2019年 5月 1日

登録期限 :2021年 4月31日

登録番号 :M-EMS2W-0019 KES2W-5-0019

(2) 登録範囲

産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物中間処分業

(3)対象事業所

本社・事務所 三重県四日市市水沢町166番地

中間理施設

第1リサイクルプラント 三重県四日市市水沢町字横堀5034-2

第2リサイクルプラント 三重県四日市市堂ヶ山町字上大塚谷1902

第3リサイクルプラント 三重県四日市市堂ヶ山町字梨木沢1943-29

3. 環境宣言

環 境 宣 言

基本理念

山泰建設株式会社は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、全組織を挙げて環境負荷の低減及び環境保護に努力します。

方 針

山泰建設株式会社は、産業廃棄物の収集運搬業務、産業廃棄物中間処理業務に係わる全ての活動、製品及びサービスの環境負荷を低減するために、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。

1. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防及び環境保護を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
なお環境保護には、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び気候変動への適応、並びに生物多様性及び生態系の保護などを含みます。
2. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境関連の法的及びその他の要求事項を順守します。
3. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
 - (1) 電気使用量の削減
 - (2) 燃料使用量の削減(ガソリン、軽油)
 - (3) 事務用紙使用量の削減
 - (4) 分別指導件数の削減
 - (5) 事務所・工場周辺の清掃
4. 一人ひとりが環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、この環境宣言を組織の全員に周知するとともに一般に人々が入手できるようにします。
5. 三重県及び四日市市の環境改善活動に積極的に参画します。

上記の方針達成のために、環境改善目標を設定し、定期的に見直し環境マネジメントシステムを推進します。

制定日 2018年11月1日

山泰建設株式会社

代表取締役 鎌田 泰裕

4. 環境改善目標

2018年度以降3年間の環境改善目標 (2018年度目標数値は、2018年11月～ 2019年3月間を示す)
(基準年度:2017年)

環境改善目標	基準年度	単位		単年度	目標と実績	
(最終年度の目標)	2017年度 実績			2018年度	2019年度	2020年度
電力使用量 基準年度比 3%削減	121842	kWh	目標	基準年度比 1%削減 (67725)	基準年度比 2%削減 (119405)	基準年度比 3%削減 (118187)
			実績	61126		
(二酸化炭素排出量の削減)	58484	kg-CO2	目標 (CO2換算)	32508	57314	56729
			実績 (CO2換算)	29340		
ガソリン使用量 基準年度比 3%削減	8564	L	目標	基準年度比 1%削減 (3852)	基準年度比 2%削減 (8392)	基準年度比 3%削減 (8307)
			実績	3997		
(二酸化炭素排出量の削減)	19868	kg-CO2	目標 (CO2換算)	8936	19470	19271
			実績 (CO2換算)	9273		
軽油使用量 基準年度比 3%削減	236280	L	目標	基準年度比 1%削減 (126754)	基準年度比 2%削減 (231554)	基準年度比 3%削減 (229191)
			実績	92129		
(二酸化炭素排出量の削減)	609602	kg-CO2	目標 (CO2換算)	327025	597409	591313
			実績 (CO2換算)	237692		
事務用紙使用量の削減 基準年度比	47120	枚	目標	基準年度比 1%削減 (19394)	基準年度比 2%削減 (46177)	基準年度比 3%削減 (45706)
			実績	23884		
3%削減 分別指導件数の20%削減 (16件/月以下)	240	件/年	目標	基準年度比 維持 100件以下	基準年度比 10%削減 216件以下	基準年度比 20%削減 192件以下
			実績	107		

事務所・工場周辺の清掃 12回/年(29回/3年)	12	回/年	目標	5回/年	12回/年	12回/年
			実績	6		
二酸化炭素排出量	687954	kg-CO ₂	目標	368469	674193	667313
			実績	300189		

CO₂ 排出係数 : 中部電力(2016年度実績) : 0.480 kg-CO₂/kWh 軽油 : 2.58 kg-CO₂/ℓ
ガソリン : 2.32 kg-CO₂/ℓを使用。

なお水の使用量の削減については、改善目標から除外していますが、
管理項目として取り上げ、節水を心がけ、その削減に努めています。
グリーン購入については、事務用品をメインに購入品目の増加に努めます。
化学物質においては、ごく少量の使用しかありませんので、目標に取り上げていません。

5. 環境改善目標と実績

2018年度環境活動実績 (2018年11月～2019年1月)

環境改善目標	具体的方策	目標値	実績値	評価
電力使用量 基準年度比 1%削減 (二酸化炭素の排出量削減)	・空調温度の適正管理 ・休憩時間の消灯確認 ・設備の休止時電源オフ ・夜間作業時の適正な電灯の使用 (達成度は累計評価)	35466 kWh 17024 kg-CO ₂	35253kWh 16921Kg- CO ₂	達成度100% A
ガソリン使用量 基準年度比 1%削減 (二酸化炭素の排出量削減)	・アイドリングストップの推進 ・エコ運転の励行 (達成度は累計評価)	2308 L 5356 kg- CO ₂	2252L 5225Kg- CO ₂	達成度102% A
軽油使用量 基準年度比 1%削減 (二酸化炭素の排出量削減)	・アイドリングストップの推進 ・エコ運転の励行 ・点検による異常発生の抑制 ・運転技術の向上による 運転時間の削減 (達成度は累計評価)	55976 L 144420 kg- CO ₂	52787L 136190Kg- CO ₂	達成度106% A
事務用紙使用量の削減 基準年度比 1%削減	・裏紙の再利用 ・画面コピーの活用 ・パソコン、電子メールの活用 (電子媒体の活用含む) (達成度は累計評価)	9427 枚	14174枚	達成度66% C
分別指導件数の削減 (20件/月以下) 基準年度比 1%削減	・顧客に対しての分別の指導 (達成度は累計評価)	60 件	71件	達成度84% C
事務所・工場周辺の清掃 毎月1回	・月に一度のごみ拾い、 清掃の実施 ・草刈り ・3S活動の実施 (達成度は月次評価)	3回	3回	達成度100% A
二酸化炭素排出量(kg- CO ₂)		232999 kg- CO ₂	198259kg- CO ₂	達成度117% A

評価記号 A: 良好(100%以上) B: やや不足(90~100%) C: 不適合(90%以下)

No	管理項目	具体的施策	項目	単位	実績値
1	水の使用量削減	・洗面所の水は必ず締める ・洗車時には水を出しっぱなしにしない	水使用量	m ³	88
2	グリーン購入	・エコ商品カタログの活用	購入項目	個	15

5.1 具体的環境活動の評価

- ☆ 電力使用量の削減は、達成度100%と目標を達成できましたが、11月から夜間の道路仕事など仕事量が増加し残業や夜間作業が多くなったため、暫く様子を見ると共に、夜間作業の適正な電灯の使用や空調温度の適正管理と無駄な照明を止めることを継続して行っています。
- ☆ 燃料使用量(ガソリン、軽油)の削減では、ガソリン使用量の削減が達成度102%、軽油使用量の削減が達成度106%と全て目標を達成できました。
ガソリン使用量削減において、夜間の道路仕事など仕事量が増加し車を動かす時間が長くなったので、アイドリングストップの推進とエコ運転の励行に努めて徹底しています。
- ☆ 事務用紙使用量の削減は、達成率66%と目標未達でした。契約書保管の使用や顧客対応の提出資料が増加したためであり、一時的な増加と思われるので暫く様子を見るが、裏紙の再利用、パソコン、電子メールの活用の具体的方策を徹底しています。
- ☆ 分別指導件数の削減は、達成率84%と目標未達でした。産業廃棄物処理業者では、外国人の従業員が増加しており、外国人運転手が産業廃棄物を持ち込む場合が多く、分別を厳しく注意するが直らない場合が多いのが現状です。分別作業の教育と指導を徹底して継続中です。
- ☆ 二酸化炭素排出量の削減は、電気使用量の削減及び燃料使用量(ガソリン、軽油)の削減について二酸化炭素に換算した結果、達成率117%となりました。
これらの改善活動については、二酸化炭素排出を意識して目標達成の活動をしています。
- ☆ 水の使用量の削減については、洗車時に水を出しっぱなしで作業をするなど、無駄が多かったが作業の方法を見直し徹底しました。各自節水を心がけるようになり使用量の削減に結びつつあります。
- ☆ グリーン購入は、エコ商品のカタログの活用と業者にエコ商品を紹介して貰い購入をするように習慣づけが出来つつあります。

5.2 2018年度活動についての今後の課題

電力使用量、燃料使用量(ガソリン、軽油)及び紙の使用量の削減については、仕事量が増加しているため、従業員に対する具体的施策の教育を徹底して、問題意識を高めて活動することが課題と考えます。

また、分別指導件数の削減は、即効果が表れていませんが、産業廃棄物業者へのキメ細かい指導が課題であるため、徹底して指導強化に努めます。

水の使用量については、一層の意識向上を図り徹底に努めます。

来年度については、今年と同じ目標を掲げ、レベルアップを図ります。

6. 環境関連法規の順守状況

当社の事業活動に制約を受ける環境関連法規制等については、順守状況を定期的に確認し、評価の結果、違反はありませんでした。

また、関係機関等からの違反の指摘・苦情・訴訟はありませんでした。

7. 最高責任者による全体の評価見直しの結果

7.1 全体評価

環境マネジメントシステムの導入により、従業員の環境意識が高まってきている。2019年度もこの環境マネジメントシステムを継続し、環境負荷低減に向けて推進すること。

7.2 見直し評価

環境方針の変更の必要性については、変更せずそのまま継続する。

環境マネジメントシステムの構築は、一般的にスムーズに運用されているので、環境改善目標の変更も必要はない。

8. コミュニケーション

特にありません。

以上

